

「連合静岡・2019 年個別賃金実態調査」

結果報告

2020 年 4 月

連合静岡

目 次

調査実施の概要.....	1
連合静岡全体の概況.....	6
1. 性別区分.....	7
2. 業種別区分.....	13
3. 規模別区分.....	15
4. 地域区分.....	17
5. 2018 年調査との比較.....	19
参考Ⅰ 300 人未満全国集計との比較	22
参考Ⅱ 静岡県・春季賃上げ妥結状況	24

調査実施の概要

1. 連合静岡「個別賃金実態調査」とは

本調査の目的は、①主要な労働条件である賃金水準について「個別賃金実態調査」を通じて地域に波及できる精度の高い数値を示すことにより「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」運動を社会運動化すること、②「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」が社会運動として認識される事で労働組合の存在意義を高め、1,000 万連合に向けた組織拡大の一翼を担い、働く事を軸とする安心社会の創造に繋げることを目的として、取り組んでいる調査である。

2. 調査項目およびデータの整理

調査項目は、「性別（男性、女性）」、「学歴（中卒、訓練校卒、高卒、専門学校卒、短大・高専卒、大卒、大学院修了）」、「年齢」、「勤続年数」、「基本賃金」、「所定内賃金」の 6 項目である。ただし、集計にあたっては、『2020 地域ミニマム運動：2019 年個別賃金実態調査』との整合性を鑑み、下記の項目についてデータの整理と補完を行っている。

○学歴構成は、「中卒」、「高卒（訓練校卒含む）」、「短大・高専卒（専門学校卒含む）」、「大卒・大学院修了」、「不明」の 5 区分に再整理した。

○勤続年数の記入がないケースについては、『地域ミニマム運動・個別賃金実態調査』から算出した年齢ポイント別平均勤続年数を代入した。

○賃金額の集計には、「所定内賃金」を活用しているが、所定内賃金のないケースについては「基本賃金」を代用した。

さらに、参加組合の属性データから、業種を 3 区分（製造業、交通・運輸業、商業・サービス業）、企業規模を 4 区分（99 人以下、100～299 人、300～999 人、1,000 人以上）、地域を 4 区分（東部、中部、西部、その他）にそれぞれ分類し、集計を行うこととした。

○本報告で用いている平均値とは、とくにことわりのない限り「単純平均」によって算出した数値である。

3. 集計ならびに分析作業の委嘱

本報告は、連合静岡組織局との議論に基づいて、労働調査協議会（略称：労調協）が作成している。

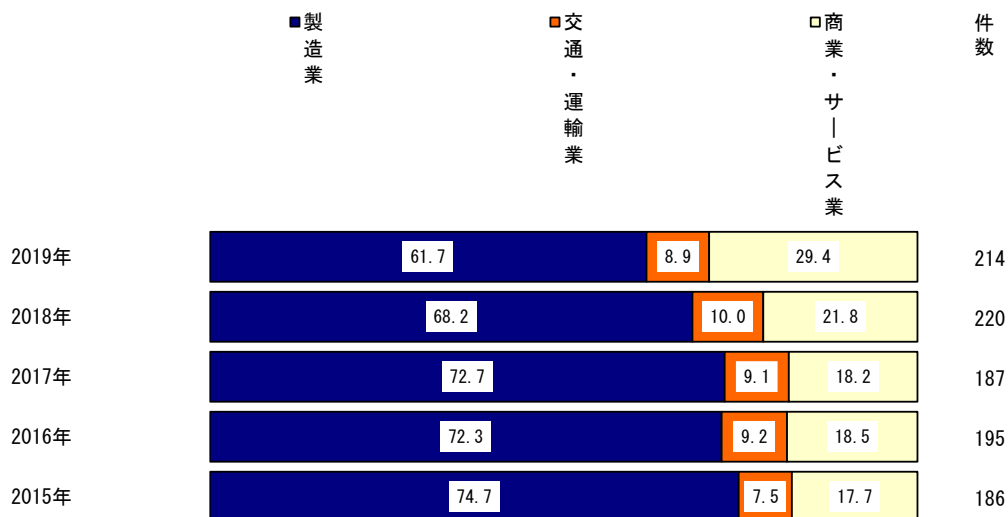
4. 2019 年度の取り組み状況

集計対象となった組合数は 214 組合、組合員数は 87,488 人である。2018 年調査（220 組合、83,234 人）と比べると、組合数が 6 組合減少したものの、組合員数は 4,254 人増加している。

参加組合の業種構成は、「製造業」が 61.7%と多数を占め、それ以外では「商業・サービス業」が 29.4%、「交通・運輸業」が 8.9%となっている（図表 1）。

2017 年調査以降、「製造業」が減少する一方で、「商業・サービス業」は徐々に増加している。

図表 1 連合静岡・業種



なお、現時点で最新の調査結果は公表されていないが、『平成 30 年静岡県労働組合基礎調査結果』（平成 30 年 6 月 30 日現在）によれば、静岡県内の労働組合数ならびに労働組合員数は 1,230 組合、276,673 人（男性：194,044 人、女性：82,629 人）であり、うち東部が 406 組合、81,790 人、中部が 456 組合、87,860 人、西部が 368 組合、107,023 人となっている（推定雇用者数は 1,695 千人）。また、上記 1,230 組合のうち、連合加盟組合数は 686 組合、209,814 人である。

なお、上記連合加盟組合に占める今回調査の集計対象は、組合数で 31.2%、組合員数で 41.7%を占めている。

ちなみに、平成 29 年における組織状況は、労働組合数が 1,245 組合、組合員数は 280,354 人であったが、この間組合数、組合員数の減少に歯止めがかからない状況が続いている。

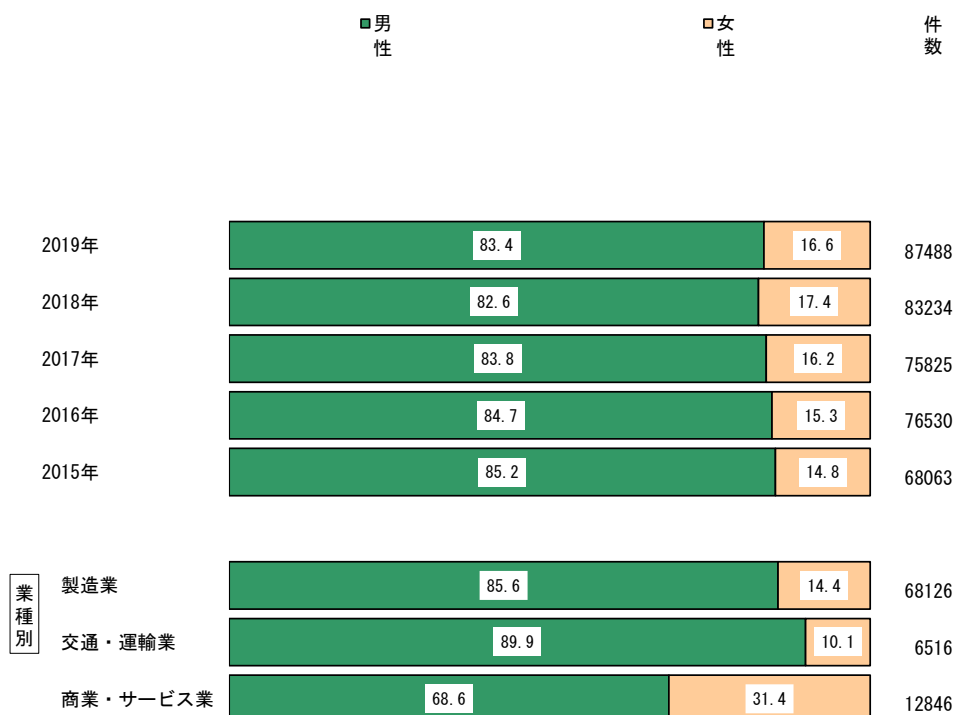
一方、パートタイム労働者の労働組合員数は 14,809 人（うち、女性が 11,168 人）であり、全労働組合員数（276,673 人）の 5.4%を占める（平成 29 年パートタイム労働組合員数：14,327 人）。

5. 集計対象者の構成

性別構成は、「男性」が83.4%（73,005 人）、と多数を占める点はこの間変わっておらず、「女性」（16.6%、14,483 人）は10%台後半で推移している（図表2）。

業種別では、商業・サービス業で「女性」（31.4%）がほぼ3人に1人に及び、他の業種に比べて多くみられる。

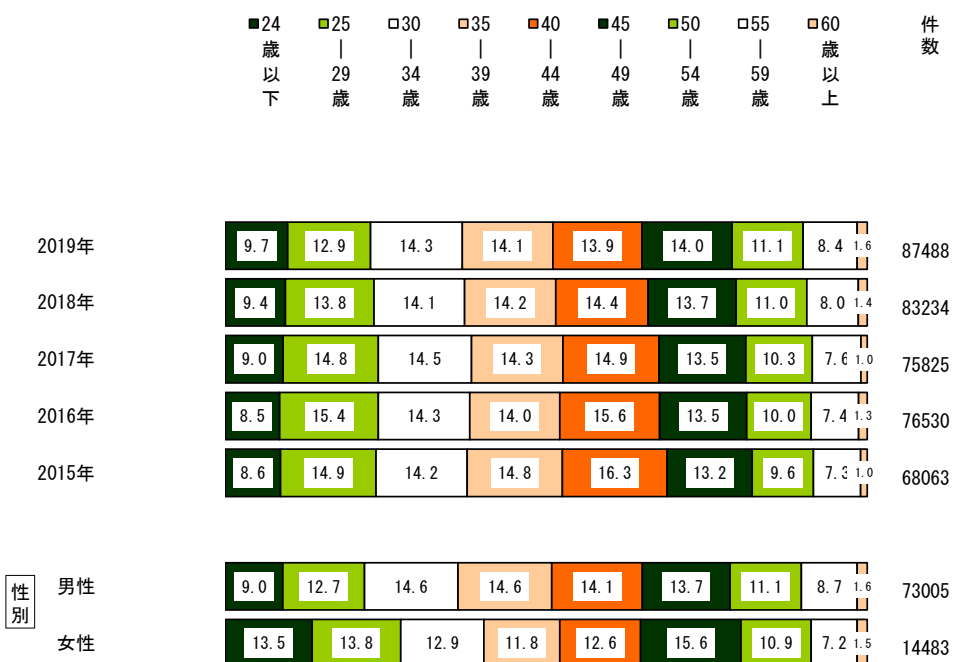
図表2 連合静岡・性別



年齢構成は、30代と40代がともに3割弱を占め、平均年齢は39.3歳（平均勤続年数：15.5年）である（図表3、図表4）。女性の場合、男性に比べて29歳以下層が3割弱と多く、平均年齢でも38.5歳と、男性（39.4歳）を1歳程度下回っている。

なお、各業種の平均年齢は、製造業が39.1歳（男性：39.2歳、女性：38.8歳）、交通・運輸業が41.6歳（同：42.0歳、同：37.5歳）、商業・サービス業が38.9歳（同：39.4歳、同：38.0歳）である。

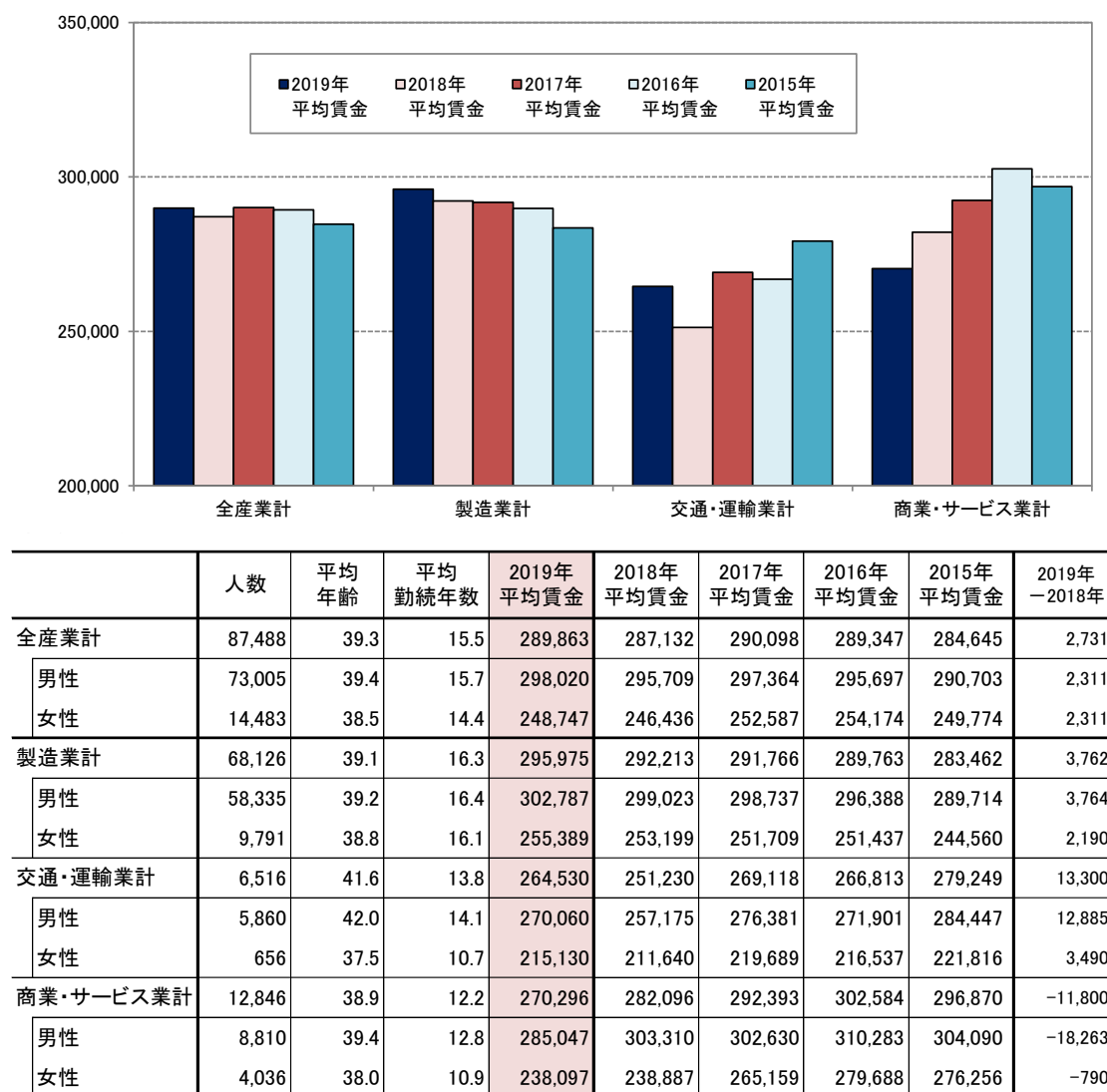
図表3 連合静岡・年齢



平均賃金額は、全産業計で 289,863 円（男性：298,020 円、女性：248,747 円）となっており、2018 年調査（287,132 円）に比べて 3,000 円近く増加（名目賃金上昇率：1.0%）している。

なお、本調査は、「構成組織を通じ毎年 9 月末日を期限として」実施され、当年 12 月提出分で集計および分析を行っている。2018 年から 2019 年までの消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合、いずれも年平均）の上昇分（101.7→102.3）を加味すると、実質では 0.3% の上昇にとどまっている。

図表 4 連合静岡・業種



注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

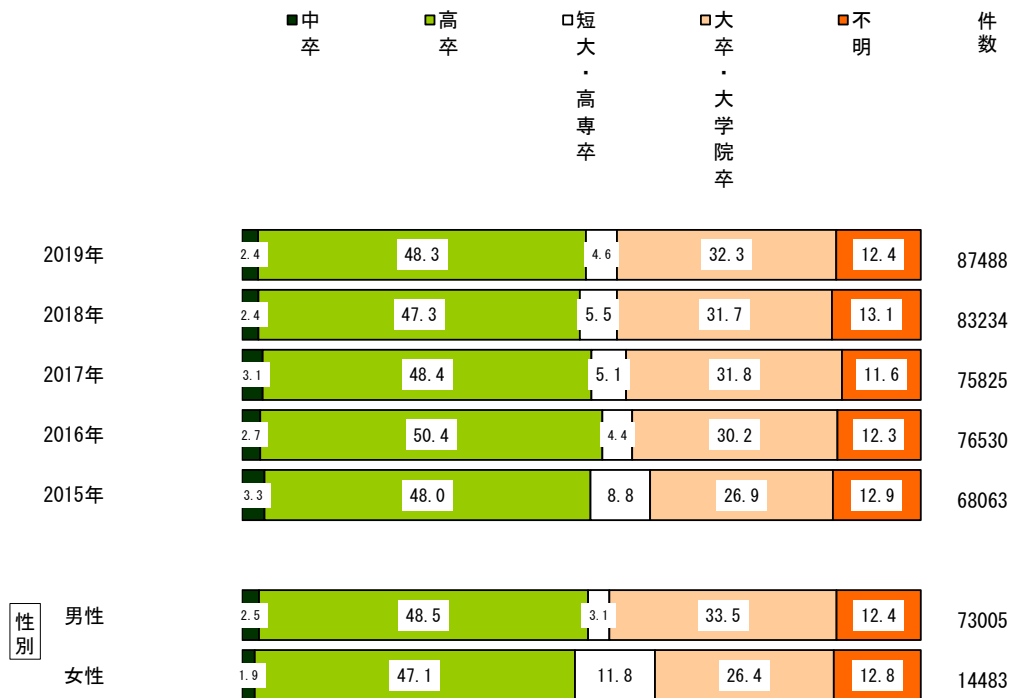
業種別の平均賃金額は、製造業が 295,975 円（2018 年調査：292,213 円）、交通・運輸業が 264,530 円（同：251,230 円）、商業・サービス業が 270,296 円（同：282,096 円）である。

2018 年調査と比べると、製造業や交通・運輸業で平均賃金額が増加しているものの、商業・サービス業では大きく減少している。これは、主に商業・サービス業の集計対象者の中に、非正規社員が含まれている可能性のあることが影響しているものと推察される。

さらに、図表 5 により学歴構成をみると、「高卒」が 48.3% で最も多く、次いで「大卒・大学院卒」が 32.3%、「短大・高専卒」(4.6%) や「中卒」(2.4%) はいずれもわずかである。

男女ともに「高卒」が半数近くを占める点は共通した結果であるが、女性では「短大・高専卒」(11.8%) が男性に比べてやや多くなっている。

図表 5 連合静岡・学歴



連合静岡全体の概況

参考 連合静岡・年齢別賃金階級別人員分布表

[illegible]

1. 性別区分

全産業計における年齢ポイント別平均賃金額は、20歳の178.6千円から55歳の348.9千円まで年齢の高まりとともに増加しており、右肩上がりのカーブを描いている（図表6）。女性の場合、男性に比べて賃金カーブの傾きが緩やかになっている他、平均賃金額のピークも50歳と男性より早い点の特徴といえる。

男女間の賃金格差（男性＝100）に着目すると、20歳や25歳ポイントではその差も大きくはないが、30歳で91、それ以降の年齢ポイントでは77～84と、25歳を境に徐々に差が広がる傾向にある。また、その金額差は、30歳では2.3万円程度にとどまるが、35歳以降の年齢ポイントでは4.6～8.2万円程度にまで拡大している。

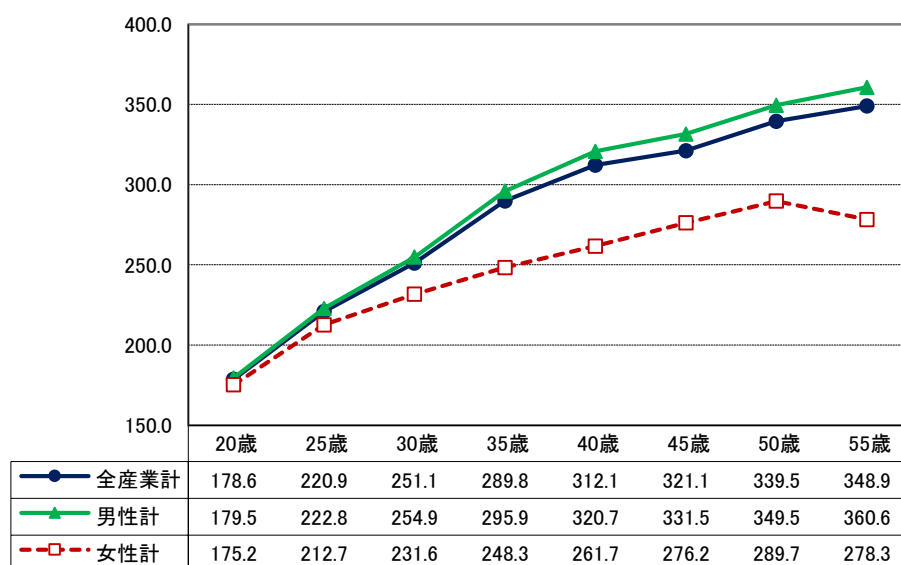
ただし、この格差には、年齢や勤続年数、学歴、職種構成など、男女間の属性上の違いも影響している点には留意する必要がある。

なお、年齢区間20～40歳のデータを利用して算出した賃金の1歳あたり上昇額（年齢を説明変数として賃金について1次回帰した場合の年齢係数＝「傾き」）は、6,597円（男性：7,039円、女性：3,712円）である。

図表6 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：性別（単位：千円）

	全産業計		男性計		女性計		女性 ／男性
		20歳 ＝100		20歳 ＝100		20歳 ＝100	
20歳	178.6	100.0	179.5	100.0	175.2	100.0	97.6
25歳	220.9	123.7	222.8	124.2	212.7	121.4	95.4
30歳	251.1	140.6	254.9	142.0	231.6	132.2	90.9
35歳	289.8	162.3	295.9	164.9	248.3	141.7	83.9
40歳	312.1	174.8	320.7	178.7	261.7	149.4	81.6
45歳	321.1	179.8	331.5	184.7	276.2	157.6	83.3
50歳	339.5	190.1	349.5	194.8	289.7	165.4	82.9
55歳	348.9	195.4	360.6	201.0	278.3	158.8	77.2
傾き	6,597		7,039		3,712		

注）「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



【回帰分析について】

○回帰分析とは？

一般的に、年齢と賃金との関係を考えて、年齢が高くなれば賃金も上がると想定されている。ただし、賃金は、年齢という要素だけで決定されるものではないため、個々の年齢によって賃金額にはバラツキが生じているはずである。

そこで、ヨコ軸に年齢、タテ軸に賃金額をとり、個々のデータをプロットしていくと、おおよそ右肩上がりのプロット図が描かれる。そのプロット図から、年齢と賃金との関係を示す線を引こうとする際に、このすべてのデータの真ん中を通る（個々の点からの距離の総和が最も短い位置にある、ズレが最小になる）ように引いた線を「回帰線」という。また、回帰線は、1次式では直線（回帰直線）、2次式以上では曲線（回帰曲線）で表される。

“賃金Yは年齢Xとの関係で決まっている”と想定し、回帰式で表すと、

1次式では「 $Y = aX + b$ 」（a：傾き、b：定数）となる。

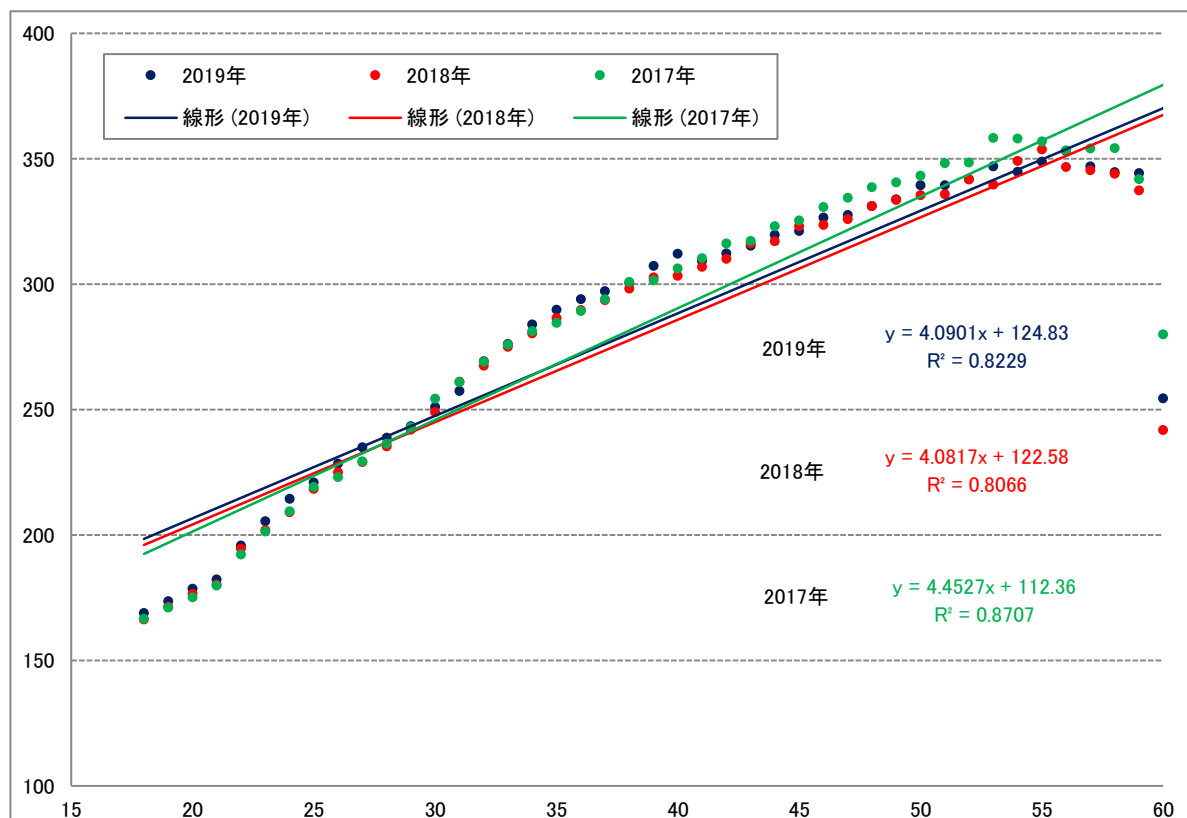
3次式では「 $Y = a_1X^3 + a_2X^2 + a_3X + b$ （定数）」となる。

※ 1次式は右肩上がりの直線、3次式は両端がゆるやかで中ほどで上昇するS字曲線

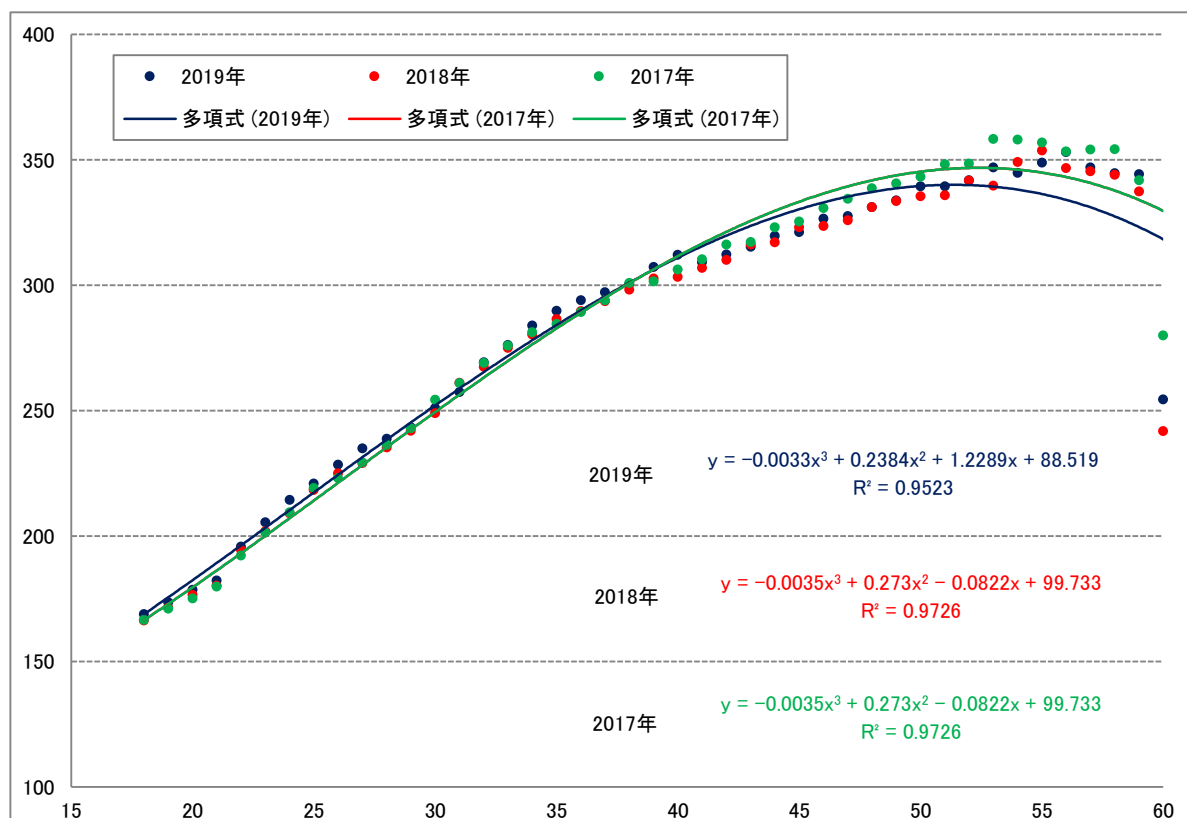
ちなみに、回帰計算は、変数を増やすとあてはまりがよくなるとされている。

なお、回帰式のあてはまりの程度を示す値としては、「決定係数（ R^2 ）」がある。決定係数は、0から1までの数値となり、1に近いほどあてはまりがよいとされる。とくに決まりはないが、0.8以上はあてはまりが非常によい、0.6以上はかなりよい、0.4以上はある程度よい、0.4未満はよくないと考えられている。

例 1). 1次式の場合



例 2). 3 次式の場合



○回帰分析で賃金を求める

例えば、ある年齢ポイントの賃金を求める場合、実在者のデータを利用して算出することになるが、そのデータの中に、賃金の極端に高い（低い）人がいたり、人数が極端に少なかったりすると、それらの影響を受け、1歳ごとの金額のブレが大きくなることが懸念される。

回帰分析で賃金を求めると、特定の年齢ポイントの賃金でも全体のデータから導き出されるため、ブレが少なく、なだらかな賃金カーブが描け、数値を得られることができる。また、実際に当該年齢ポイントに実在者がいなくても、推計値として算出することができるという利点もある。

さらに、年齢ポイントごとに安定的な賃金データが得られれば、1人あたりの1歳間差額（いわゆる賃金カーブ維持分）が求められる他、将来の総額人件費の予測などにも役立てることができる。

図表 7 は、厚生労働省が実施している『令和元年賃金構造基本統計調査』（以下、賃金センサス）と同様な年齢階層に区分して平均賃金を整理したものである（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）。

参考までに、賃金センサスにおける静岡全体の結果をみると、労働者数 61873 十人のうち男性が 40931 十人（66.2%）、女性が 20942 十人（33.8%）を占め、平均年齢 43.4 歳、平均勤続年数 12.7 年、平均所定内給与額 287.1 千円となっている（以下、単位表記は賃金センサスと同様）。

男性の結果に着目すると、各年齢階層で賃金センサス（平均年齢：43.7 歳、平均勤続年数：14.2 年、平均所定内給与額：315.4 千円）を下回る水準にあり、20 代後半から 30 代後半層ではほとんど差はみられないが、24 歳以下や 40 歳以上層では 6～8 ポイント程度の差が生じている（連合静岡の男性：平均年齢 39.4 歳、平均勤続年数 15.7 年、平均賃金額 298,020 円）。

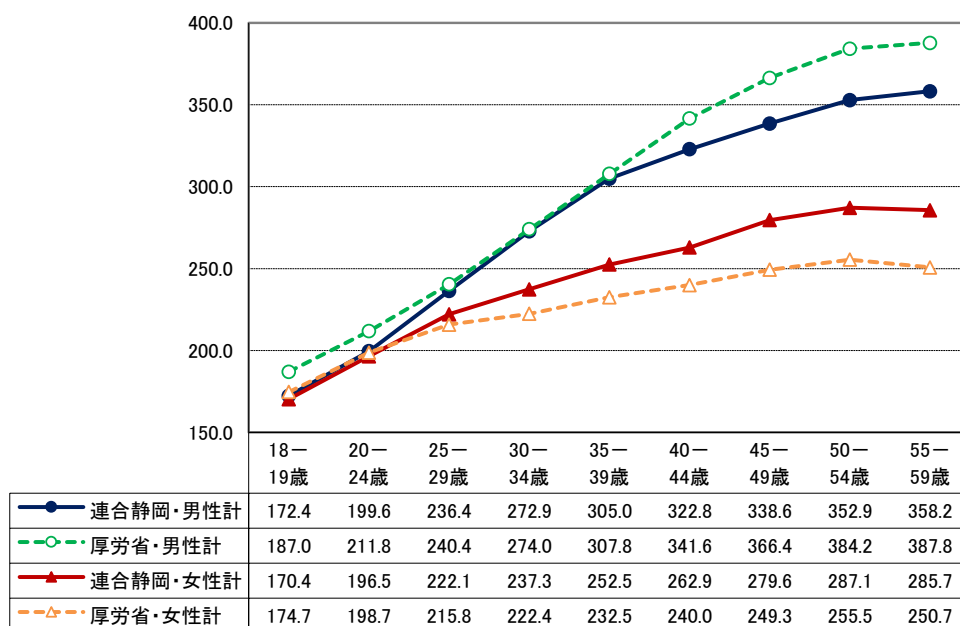
ただし、賃金センサスの結果をみる際には、調査対象者に部長や課長といった役職層も含まれている点、所定内給与額に通勤手当が含まれている点には留意する必要がある。

図表 7 年齢階層別平均賃金（単位：千円）
（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	全産業計	男性計	女性計	対厚労省・男性		企業規模計	男性計	女性計
18—19歳	171.9	172.4	170.4	92.2	19歳以下	181.6	187.0	174.7
20—24歳	198.9	199.6	196.5	94.2	20—24歳	205.9	211.8	198.7
25—29歳	233.9	236.4	222.1	98.4	25—29歳	232.0	240.4	215.8
30—34歳	267.5	272.9	237.3	99.6	30—34歳	258.9	274.0	222.4
35—39歳	297.7	305.0	252.5	99.1	35—39歳	284.9	307.8	232.5
40—44歳	313.8	322.8	262.9	94.5	40—44歳	311.6	341.6	240.0
45—49歳	327.7	338.6	279.6	92.4	45—49歳	324.0	366.4	249.3
50—54歳	342.2	352.9	287.1	91.9	50—54歳	339.2	384.2	255.5
55—59歳	348.0	358.2	285.7	92.4	55—59歳	341.9	387.8	250.7

出所）厚生労働省『令和元年賃金構造基本統計調査』

注）静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額



【賃金構造基本統計調査（賃金センサス）について】

○調査の概要

『賃金構造基本統計調査』は、厚生労働者が「主要産業に雇用される労働者について、その賃金の実態を労働者の雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにする」ことを目的に、毎年7月に実施している基幹統計である。

日本標準産業分類に基づく16大産業に属する5人以上の常用労働者を雇用する民営事業所、および10人以上の常用労働者を雇用する公営事業所から都道府県、産業および事業所規模別に一定の方法で抽出した事業所が対象となっている。

ちなみに、集計対象は、上記のうち10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所である（直近の令和元年調査では、調査対象78,482事業所のうち、有効回答を得た53,867事業所が集計対象）。

○賃金センサスの活用例

- ・自身の賃金額を世間水準と比較する

自身と同じ年齢階級の労働者のデータを参考にして、自身の賃金水準が世間水準よりも高いか低いかを確認することができる。その際は、いわゆる“手取り額”ではなく、税・社会保険料控除前の“総支給額”を活用する。

- ・年収の試算ができる

おおよその年収は、「きまって支給する現金給与額」×12+「年間賞与その他特別給与額」（前年1年間に支給された賞与等の総額であることに留意）という式で、算出することができる。

○「毎月勤労統計調査（毎勤）」との違い

- ・賃金センサスは、原則として民営事業所に関して集計を行っている

毎勤は、事業所の産業が調査対象となる産業分類に属していれば、経営形態が民営に限らず、官営や公営であってもすべて集計している。

- ・賃金センサスは、労働者の年齢や学歴などによる属性ごとの賃金実態、労働者個人の賃金実態を調査している

毎勤は、毎月の賃金や労働時間、雇用の変動を明らかにすることを目的としており、事業所全体の常用労働者数、賃金支払総額、延べ労働時間を調査している。

参考 連合静岡・年齢別勤続年数別平均賃金表（単位：千円）

[illegible]

2. 業種別区分

以下では、業種別に、年齢ポイント別の平均賃金額をみていくことにする（図表8）。

20歳、35歳、45歳といった各年齢ポイントの平均賃金額をみると、20歳では、製造業が179.0千円、交通・運輸業が178.7千円、商業・サービス業が174.6千円と、商業・サービス業に比べて製造業や交通・運輸業で4千円程度上回る水準となっている。35歳では、製造業（293.5千円）と交通・運輸業（279.1千円）、商業・サービス業（275.8千円）との差がみられるようになるが、45歳になると、賃金額は製造業（328.8千円）、商業・サービス業（299.6千円）、交通・運輸業（286.3千円）の順となり、製造業と交通・運輸業で4万円以上の差が生じている。

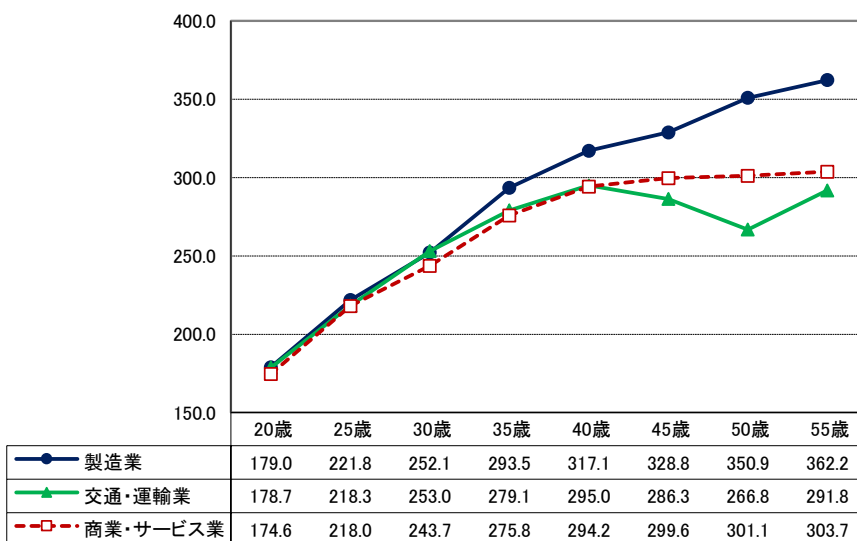
また、賃金カーブの傾き（20歳＝100）といった点では、30歳まではほとんど差はみられないが、35歳で製造業が164と、交通・運輸業（156）や商業・サービス（158）に比べて傾きが大きくなり始め、それ以降になると、製造業と上記2業種の差はさらに拡大している。

なお、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、製造業で6,928円と最も高く、次いで交通・運輸業が5,658円、商業・サービス業が5,316円である。

図表8 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：業種（単位：千円）

	製造業						交通・運輸業						商業・サービス業					
	総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計	
	20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	179.0	100.0	179.6	100.0	176.4	100.0	178.7	100.0	181.2	100.0	168.1	100.0	174.6	100.0	175.5	100.0	173.6	100.0
25歳	221.8	123.9	223.7	124.6	211.7	120.0	218.3	122.1	221.7	122.4	190.5	113.3	218.0	124.8	218.1	124.3	217.7	125.4
30歳	252.1	140.9	255.4	142.2	230.9	130.9	253.0	141.6	260.4	143.7	210.6	125.3	243.7	139.6	247.3	140.9	237.4	136.7
35歳	293.5	164.0	298.2	166.1	253.0	143.4	279.1	156.2	289.3	159.7	208.6	124.0	275.8	158.0	285.1	162.5	245.9	141.7
40歳	317.1	177.2	324.9	181.0	260.4	147.6	295.0	165.1	300.1	165.7	239.2	142.2	294.2	168.5	305.0	173.8	266.8	153.7
45歳	328.8	183.7	338.9	188.8	283.3	160.6	286.3	160.2	292.2	161.3	247.9	147.4	299.6	171.6	313.0	178.3	256.9	148.0
50歳	350.9	196.0	359.2	200.0	301.9	171.2	266.8	149.3	269.4	148.7	232.8	138.5	301.1	172.5	323.0	184.0	263.4	151.7
55歳	362.2	202.3	372.6	207.5	292.0	165.5	291.8	163.3	295.0	162.8	225.5	134.1	303.7	174.0	329.7	187.9	244.5	140.8
傾き	6,928		7,271		4,106		5,658		6,031		2,537		5,316		6,156		2,987	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



図表 9 は、製造業・男性に着目し、年齢階層別に平均賃金額を整理（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）したものであるが、連合静岡調査（平均年齢：39.2 歳、平均勤続年数：16.4 年、平均賃金額：302,787 円）の場合、18－19 歳の 172.3 千円から 50 代後半層の 370.7 千円まで年齢の高まりとともに賃金額も増加している。一方、賃金センサス（同：42.9 歳、同：16.0 年、平均所定内給与額：312.9 千円）では、20 代前半から 40 代後半までは連合静岡調査とほぼ同様な賃金カーブの傾きとなっているが、50 代前半層を境に賃金カーブの傾きがやや大きくなっている。

なお、両者の賃金額の差が顕著なのは 40 代後半以降の年齢層で、1.1～2.6 万円程度の差が生じている。

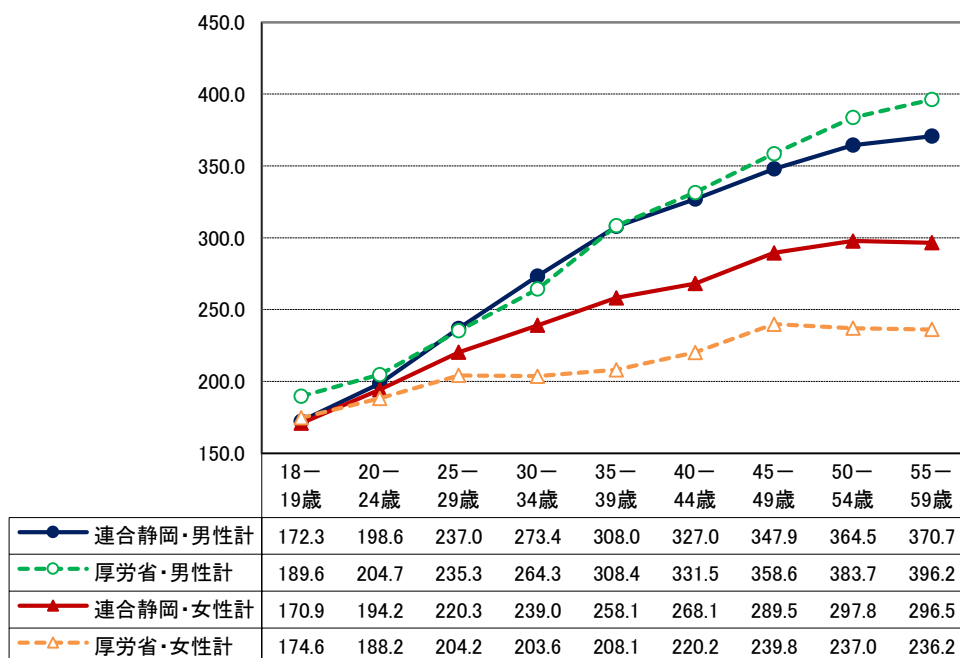
図表 9 年齢階層別平均賃金：製造業（単位：千円）

（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	製造業計	男性計	女性計	対厚労省・男性		製造業計	男性計	女性計
18－19歳	172.0	172.3	170.9	90.9	19歳以下	184.6	189.6	174.6
20－24歳	197.7	198.6	194.2	97.0	20－24歳	200.0	204.7	188.2
25－29歳	234.5	237.0	220.3	100.7	25－29歳	228.7	235.3	204.2
30－34歳	269.3	273.4	239.0	103.4	30－34歳	252.8	264.3	203.6
35－39歳	302.2	308.0	258.1	99.9	35－39歳	289.6	308.4	208.1
40－44歳	319.3	327.0	268.1	98.6	40－44歳	307.4	331.5	220.2
45－49歳	337.9	347.9	289.5	97.0	45－49歳	328.5	358.6	239.8
50－54歳	354.7	364.5	297.8	95.0	50－54歳	351.4	383.7	237.0
55－59歳	360.8	370.7	296.5	93.6	55－59歳	362.4	396.2	236.2

出所）厚生労働省『令和元年賃金構造基本統計調査』

注）静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額

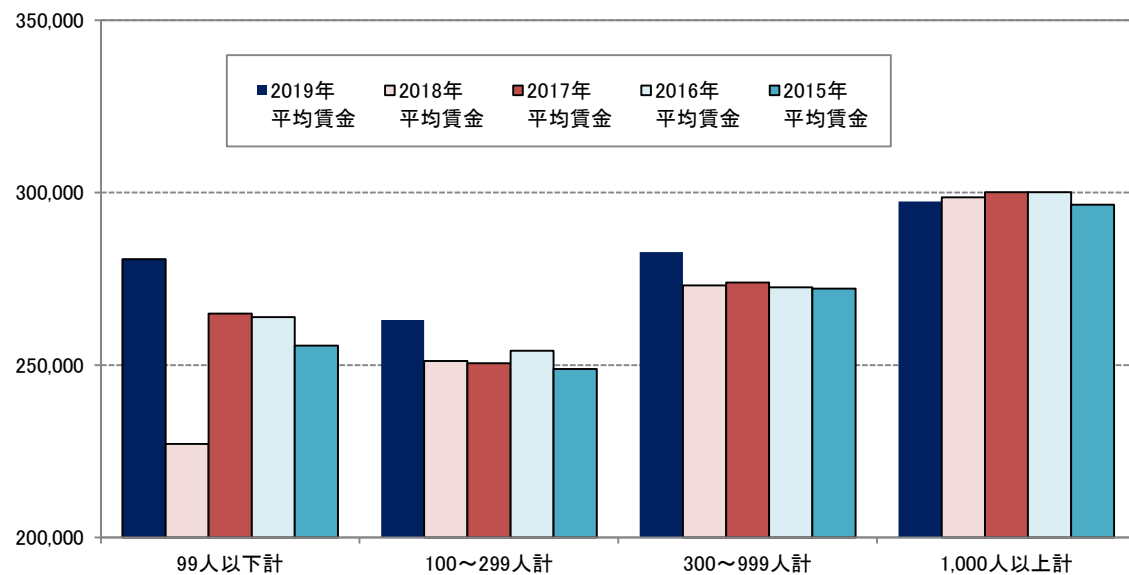


3. 規模別区分

規模別（非正規社員等も含めた全社従業員数）構成比は、1,000人以上が61.0%に及び、300～999人（20.6%）を含めれば、300人超の規模の参加組合が大多数を占めている（図表10）。それ以外では、100～299人が8.4%、99人以下が10.1%となっている。

平均賃金額は、99人以下が280,733円、100～299人が263,093円、300～999人が282,754円、1,000人以上が297,443円である。

図表10 連合静岡・規模



	人数	平均 年齢	平均 勤続年数	2019年 平均賃金	2018年 平均賃金	2017年 平均賃金	2016年 平均賃金	2015年 平均賃金	2019年 －2018年
99人以下計	8,815	40.5	15.5	280,733	227,151	264,873	263,845	255,649	53,582
男性	7,228	40.6	15.1	287,752	229,237	269,181	267,144	261,423	58,515
女性	1,587	40.1	17.7	248,765	211,988	231,392	236,206	218,173	36,777
100～299人計	7,313	38.2	14.3	263,093	251,160	250,532	254,111	248,880	11,933
男性	6,057	38.5	14.6	271,221	255,481	254,636	258,584	253,493	15,740
女性	1,256	36.6	12.8	223,900	226,686	226,739	228,024	220,153	-2,786
300～999人計	18,019	39.3	15.5	282,754	273,088	273,869	272,487	272,151	9,666
男性	15,248	39.5	15.7	287,916	281,576	281,297	279,398	279,720	6,340
女性	2,771	37.9	14.3	254,345	233,203	235,992	236,317	230,980	21,142
1,000人以上計	53,341	39.2	15.7	297,443	298,574	300,058	300,141	296,461	-1,131
男性	44,472	39.4	16.0	306,802	308,311	307,818	306,692	302,139	-1,509
女性	8,869	38.7	14.0	250,513	253,780	260,780	263,926	263,563	-3,267

注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

以下では、規模別に、年齢ポイント別の平均賃金額をみておく（図表 11）。

20 歳、35 歳、45 歳といった各年齢ポイントの平均賃金額をみると、20 歳では、99 人以下や 100～299 人、300～999 人が 17 万円台、1,000 人以上が 18 万円台となっているが、35 歳になると、999 人以下（99 人以下：279.9 千円、100～299 人：261.4 千円、300～999 人：276.4 円）と 1,000 人以上（299.5 千円）の格差がさらに拡大している。45 歳でも、概ね 35 歳と同様な傾向を示している。

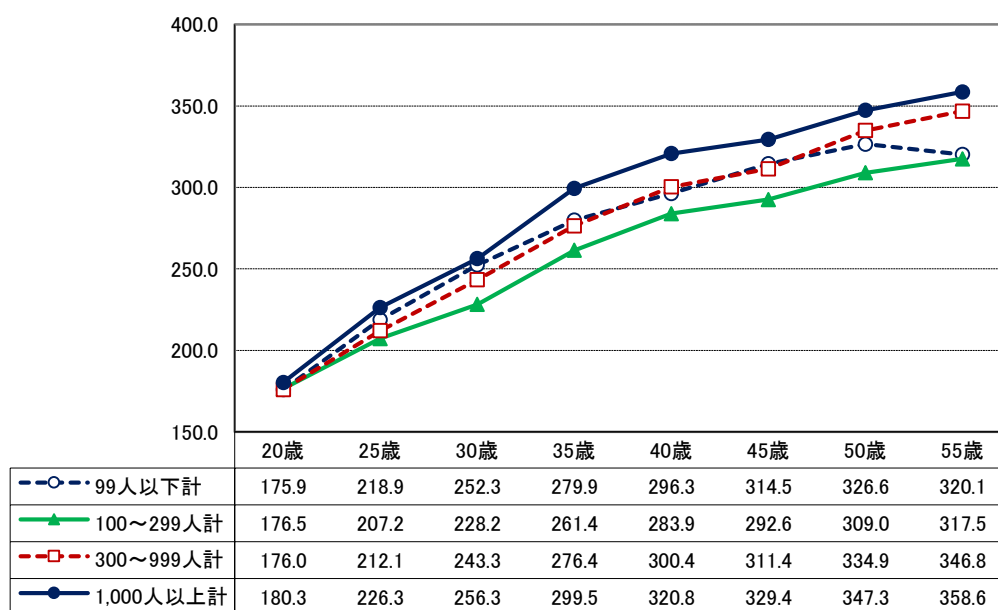
賃金カーブの傾き（20 歳＝100）では、35 歳あたりから 1,000 人以上と 999 人以下の規模で差が開きはじめ、999 人以下（99 人以下：159、100～299 人：148、300～999 人：157）に比べて、1,000 人以上では 166 となっている。

また、1 次回帰式による賃金の 1 歳あたり上昇額は、99 人以下が 5,973 円、100～299 人が 5,269 円と 6 千円を下回るのに対して、300～999 人では 6,312 円、1,000 人以上では 6,918 円と、規模間における上昇額の差も大きくなっている。

図表 11 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：規模（単位：千円）

	99人以下計		100～299人計		300～999人計		1,000人以上計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	175.9	100.0	176.5	100.0	176.0	100.0	180.3	100.0
25歳	218.9	124.4	207.2	117.4	212.1	120.5	226.3	125.5
30歳	252.3	143.5	228.2	129.3	243.3	138.3	256.3	142.1
35歳	279.9	159.1	261.4	148.1	276.4	157.1	299.5	166.1
40歳	296.3	168.5	283.9	160.9	300.4	170.7	320.8	177.9
45歳	314.5	178.8	292.6	165.8	311.4	177.0	329.4	182.7
50歳	326.6	185.7	309.0	175.1	334.9	190.3	347.3	192.6
55歳	320.1	182.0	317.5	179.9	346.8	197.1	358.6	198.9
傾き	5,973		5,269		6,312		6,918	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



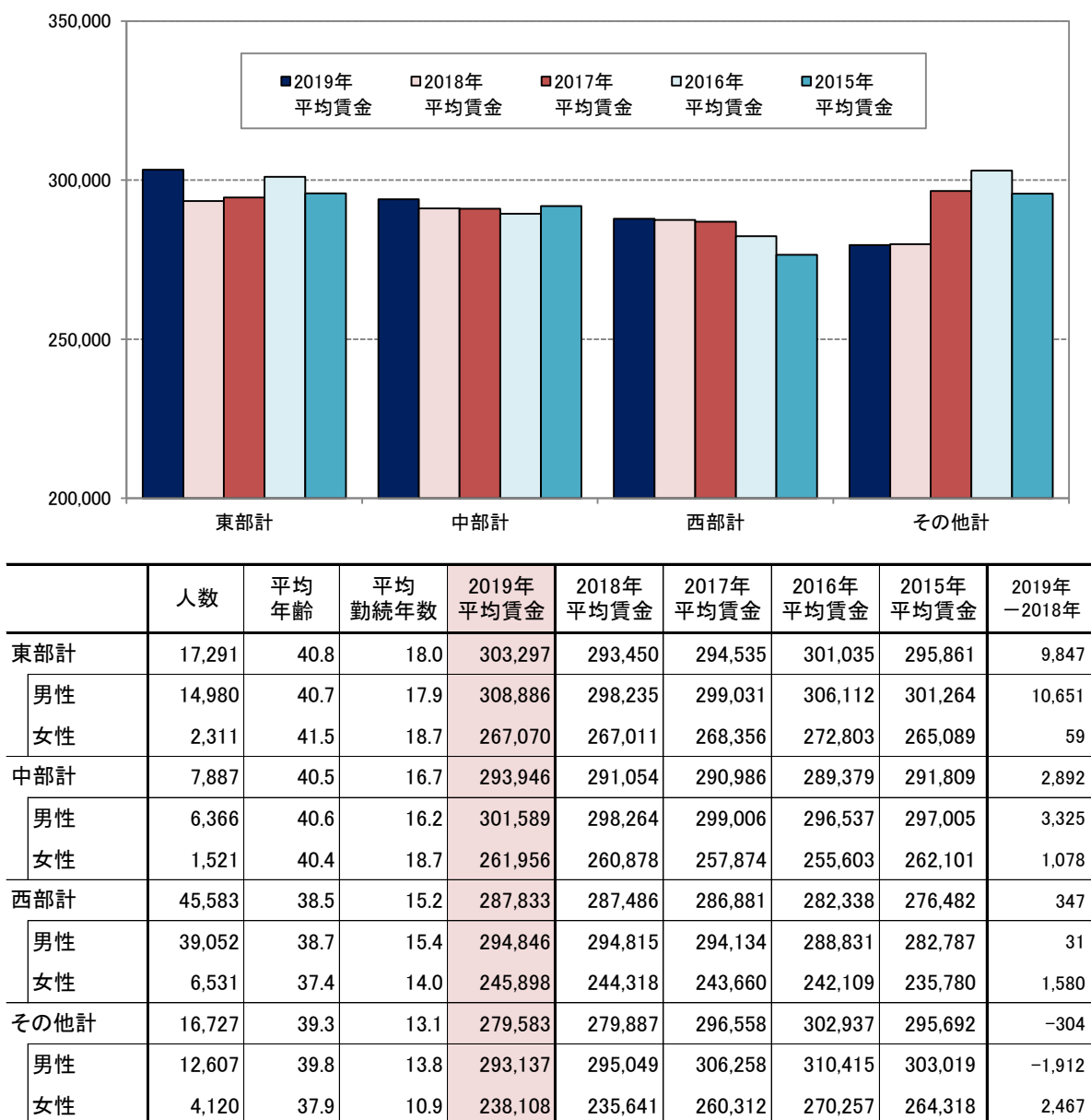
4. 地域区分

地域区分では、西部が 45,583 人(52.1%)と際立って多く、それ以外では東部が 17,291 人(19.8%)、中部が 7,887 人(9.1%)、その他が 16,727 人(19.1%)である(図表 12)。なお、その他には、静岡県下全域に事業所等が所在しているなど、上記地域区分に区分けが不可能な組合が含まれている。

平均年齢は、西部で 38.5 歳と、東部(40.8 歳)や中部(40.5 歳)に比べて 2 歳ほど下回るやや若い年齢構成となっている。

平均賃金額は、東部が 303,297 円、中部が 293,946 円、西部が 287,833 円で、これまでの調査と同様に“東高西低”といった水準にある。

図表 12 連合静岡・地域



注1). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

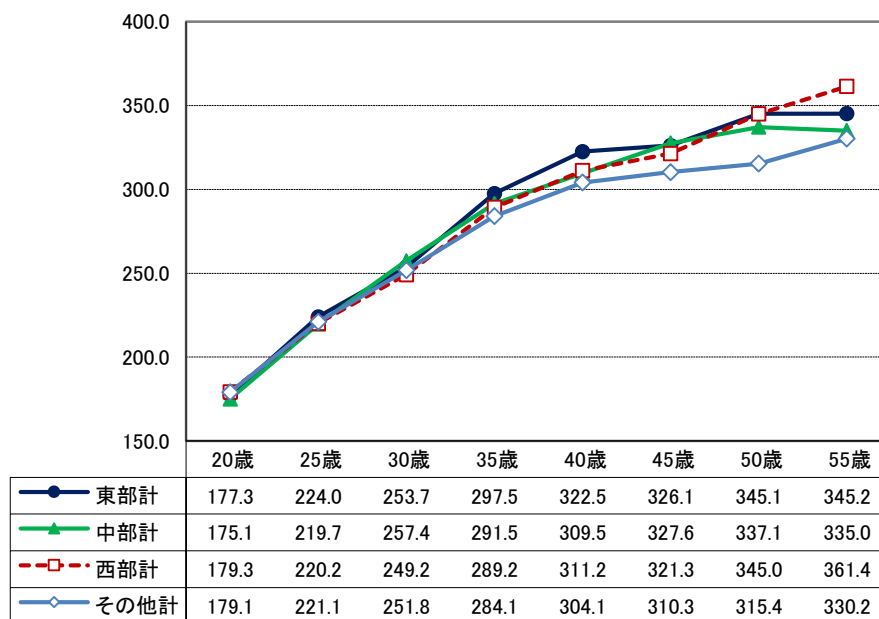
20 歳、35 歳、45 歳といった各年齢の平均賃金額をみると、20 歳では 17 万円台後半で並んでいるが、35 歳になると、東部が 29 万円台後半に上昇しているのに対して、中部や西部では 29 万円前後とやや差が生じ始める（図表 13）。ただし、45 歳では上記のような差は縮小し、いずれの地域においても 32 万円台の水準となっている。

なお、1 次回帰式による賃金の 1 歳あたり上昇額は、東部が 7,289 円、中部が 6,749 円、西部が 6,606 円である。

図表 13 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：地域（単位：千円）

	東部計		中部計		西部計		その他計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	177.3	100.0	175.1	100.0	179.3	100.0	179.1	100.0
25歳	224.0	126.3	219.7	125.5	220.2	122.8	221.1	123.4
30歳	253.7	143.1	257.4	147.0	249.2	139.0	251.8	140.6
35歳	297.5	167.8	291.5	166.5	289.2	161.3	284.1	158.6
40歳	322.5	181.9	309.5	176.8	311.2	173.6	304.1	169.8
45歳	326.1	184.0	327.6	187.1	321.3	179.2	310.3	173.3
50歳	345.1	194.7	337.1	192.5	345.0	192.4	315.4	176.1
55歳	345.2	194.7	335.0	191.3	361.4	201.6	330.2	184.4
傾き	7,289		6,749		6,606		5,844	

注)、「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



5. 2018 年調査との比較

(1) 全体比較

以下では、全産業計の結果を用いて、2018 年調査（組合員数：83,234 人、平均年齢：39.2 歳、平均勤続年数：15.4 年、平均賃金額：287,132 円）との比較を行うことにする（図表 14、図表 15）。

今回調査の場合、2018 年調査と平均年齢、平均勤続年数はほとんど変わらないものの、平均賃金額では 3 千円近く増加している（2018 年調査：287,132 円→今回調査：289,863 円）。この要因としては、これまでみてきたように、業種構成の 6 割強を占める製造業における賃金上昇のみならず、交通・運輸業での賃金上昇も影響しているものと思われる。

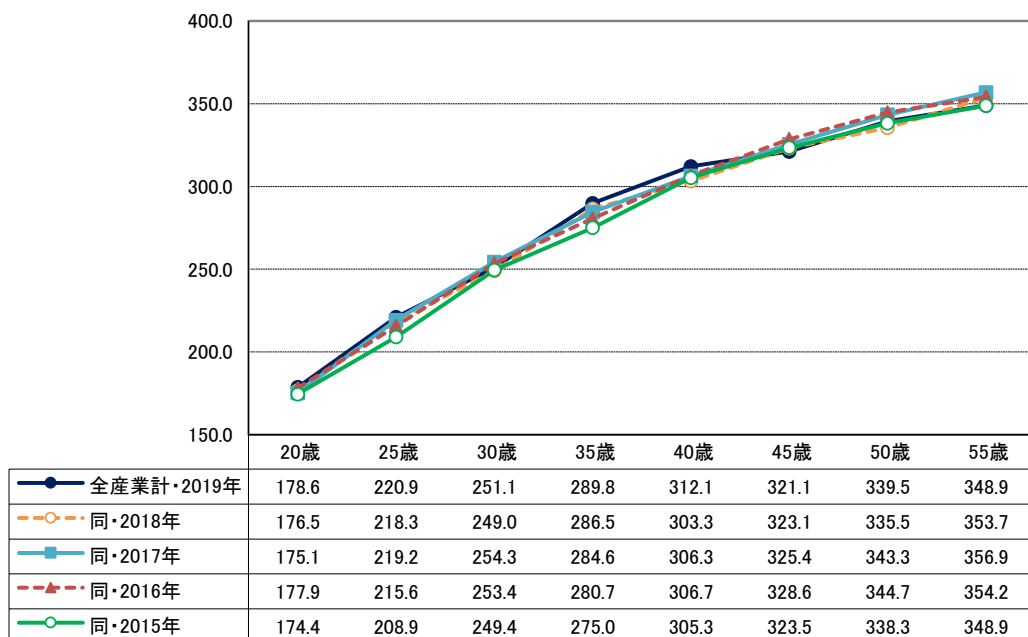
年齢ポイント別平均賃金額を 2018 年調査と比べると、45 歳や 55 歳を除くいずれの年齢ポイントで賃金額は上昇している。

ちなみに、1 次回帰式による賃金の 1 歳あたり上昇額は 6,928 円で、2018 年調査（6,479 円）に比べて増加しており、20～40 歳における賃金カーブの立ち上がりもやや急になっている。

図表 14 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：全産業計（単位：千円）

	全産業計・2019年		同・2018年		同・2017年		同・2016年		同・2015年		上昇率 (%)	2019年 －2018年
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		
全産業計	289.9		287.1		290.1		289.3		284.6		1.0	2.7
20歳	178.6	100.0	176.5	100.0	175.1	100.0	177.9	100.0	174.4	100.0	1.2	2.1
25歳	220.9	123.7	218.3	123.7	219.2	125.2	215.6	121.2	208.9	119.8	1.2	2.6
30歳	251.1	140.6	249.0	141.1	254.3	145.2	253.4	142.4	249.4	143.0	0.8	2.1
35歳	289.8	162.3	286.5	162.3	284.6	162.5	280.7	157.8	275.0	157.7	1.2	3.4
40歳	312.1	174.8	303.3	171.8	306.3	174.9	306.7	172.4	305.3	175.0	2.9	8.8
45歳	321.1	179.8	323.1	183.0	325.4	185.8	328.6	184.7	323.5	185.4	-0.6	-2.0
50歳	339.5	190.1	335.5	190.1	343.3	196.0	344.7	193.7	338.3	193.9	1.2	4.0
55歳	348.9	195.4	353.7	200.3	356.9	203.8	354.2	199.1	348.9	200.0	-1.3	-4.7
傾き	6,928		6,479		6,541		6,356		6,392			

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



図表 15 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	全産業計		2019年 －2018年	男性		2019年 －2018年	女性		2019年 －2018年
	2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年	
20歳	178.6	176.5	2.1	179.5	177.3	2.2	175.2	174.0	1.2
25歳	220.9	218.3	2.6	222.8	220.0	2.8	212.7	212.3	0.4
30歳	251.1	249.0	2.1	254.9	253.1	1.8	231.6	229.2	2.4
35歳	289.8	286.5	3.4	295.9	293.1	2.8	248.3	246.1	2.2
40歳	312.1	303.3	8.8	320.7	311.2	9.5	261.7	258.5	3.2
45歳	321.1	323.1	－2.0	331.5	335.4	－3.9	276.2	274.6	1.5
50歳	339.5	335.5	4.0	349.5	346.6	2.9	289.7	282.4	7.3
55歳	348.9	353.7	－4.7	360.6	364.7	－4.0	278.3	292.1	－13.8
傾き	6,597	6,479		7,039	6,931		3,712	3,621	

	製造業		2019年 －2018年	交通・運輸業		2019年 －2018年	商業・サービス業		2019年 －2018年
	2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年	
20歳	179.0	176.9	2.1	178.7	176.7	2.0	174.6	171.1	3.4
25歳	221.8	218.6	3.3	218.3	216.1	2.2	218.0	218.8	－0.8
30歳	252.1	248.4	3.8	253.0	246.7	6.3	243.7	253.2	－9.6
35歳	293.5	288.0	5.5	279.1	273.5	5.5	275.8	284.6	－8.7
40歳	317.1	304.2	12.9	295.0	293.6	1.4	294.2	303.3	－9.0
45歳	328.8	326.9	1.8	286.3	301.4	－15.2	299.6	316.9	－17.3
50歳	350.9	345.5	5.4	266.8	245.2	21.6	301.1	324.8	－23.7
55歳	362.2	364.0	－1.8	291.8	290.2	1.6	303.7	356.5	－52.8
傾き	6,928	6,639		5,658	5,509		5,316	6,106	

	99人以下		2019年 －2018年	100～299人		2019年 －2018年	300～999人		2019年 －2018年	1,000人以上		2019年 －2018年
	2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年	
20歳	175.9	177.5	－1.6	176.5	175.8	0.8	176.0	173.8	2.2	180.3	177.7	2.6
25歳	218.9	192.3	26.6	207.2	197.3	9.9	212.1	211.2	0.9	226.3	223.2	3.1
30歳	252.3	220.8	31.5	228.2	222.8	5.4	243.3	237.6	5.7	256.3	256.1	0.2
35歳	279.9	245.4	34.5	261.4	247.3	14.1	276.4	273.6	2.9	299.5	296.6	2.9
40歳	296.3	263.4	32.9	283.9	272.6	11.3	300.4	291.3	9.1	320.8	312.3	8.4
45歳	314.5	250.9	63.6	292.6	279.7	12.9	311.4	301.5	9.9	329.4	337.4	－8.0
50歳	326.6	256.9	69.7	309.0	290.5	18.5	334.9	312.3	22.7	347.3	352.1	－4.8
55歳	320.1	219.0	101.2	317.5	298.1	19.4	346.8	329.1	17.7	358.6	375.9	－17.3
傾き	5,973	3,964		5,269	4,872		6,312	5,974		6,918	6,927	

	東部		2019年 －2018年	中部		2019年 －2018年	西部		2019年 －2018年	その他		2019年 －2018年
	2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年		2019年	2018年	
20歳	177.3	174.9	2.3	175.1	171.9	3.2	179.3	177.2	2.1	179.1	176.7	2.4
25歳	224.0	214.8	9.2	219.7	217.5	2.2	220.2	218.0	2.1	221.1	220.9	0.2
30歳	253.7	245.7	8.1	257.4	245.4	12.1	249.2	247.4	1.9	251.8	257.3	－5.4
35歳	297.5	278.1	19.4	291.5	287.1	4.4	289.2	287.3	1.9	284.1	289.3	－5.3
40歳	322.5	304.9	17.6	309.5	306.3	3.3	311.2	300.6	10.6	304.1	308.2	－4.1
45歳	326.1	313.0	13.1	327.6	321.3	6.3	321.3	325.3	－3.9	310.3	326.9	－16.6
50歳	345.1	336.2	9.0	337.1	334.5	2.6	345.0	340.1	4.9	315.4	321.0	－5.6
55歳	345.2	342.8	2.4	335.0	345.5	－10.4	361.4	364.0	－2.6	330.2	340.8	－10.6
傾き	7,289	6,428		6,749	6,477		6,606	6,579		5,844	6,308	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。

(2) 同一組合比較

さらに、より厳密に 2018 年調査と比較を行うために、今年度（2019 年）と前年度（2018 年）双方に参加している同一組合を抽出（JAM 加盟の組合については、同一組合か否かの判断がつかないため含めていない）し、整理することにする。

抽出された同一組合数は 117 組合（今回調査における集計対象 214 組合のうちの 55%）であり、2018 年調査は 53,744 人、平均年齢が 39.3 歳、平均勤続年数が 15.0 年、平均賃金額が 281,476 円である。また、2019 年調査は 56,004 人、同 39.3 歳、同 14.9 年、同 283,183 円となっており、平均賃金額は 1,707 円（+0.6%）増加している。

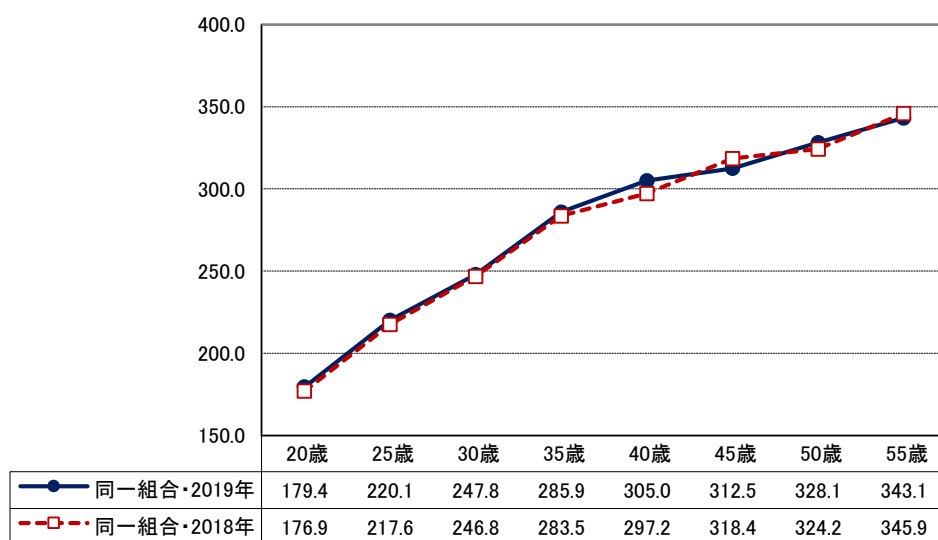
年齢ポイント別平均賃金額を 2018 年調査と比べると、45 歳や 55 歳を除くいずれの年齢ポイントで賃金額は増加しており、とりわけ 40 歳での増加幅が大きくなっている（図表 16）。

1 次回帰式による賃金の 1 歳あたり上昇額は 6,155 円で、2018 年調査（6,214 円）に比べて 59 円、0.9%のマイナスとなっているものの、賃金カーブの傾き自体はほとんど変わっていない。

図表 16 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：全産業計（単位：千円）

	同一組合・2019年		同一組合・2018年		上昇率 (%)	2019年 －2018年
		20歳 =100		20歳 =100		
20歳	179.4	100.0	176.9	100.0	1.4	2.5
25歳	220.1	122.6	217.6	123.0	1.1	2.5
30歳	247.8	138.1	246.8	139.5	0.4	1.0
35歳	285.9	159.3	283.5	160.2	0.8	2.4
40歳	305.0	169.9	297.2	168.0	2.6	7.8
45歳	312.5	174.2	318.4	179.9	-1.8	-5.9
50歳	328.1	182.9	324.2	183.2	1.2	3.9
55歳	343.1	191.2	345.9	195.5	-0.8	-2.7
傾き	6,155		6,214			

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



参考Ⅰ 300人未満全国集計との比較

下の図表は、第1十分位数に着目し、『2020 地域ミニマム運動・2019 年賃金実態調査』における47地方連合会の300人未満全国集計の結果と、連合静岡を比較したものである。

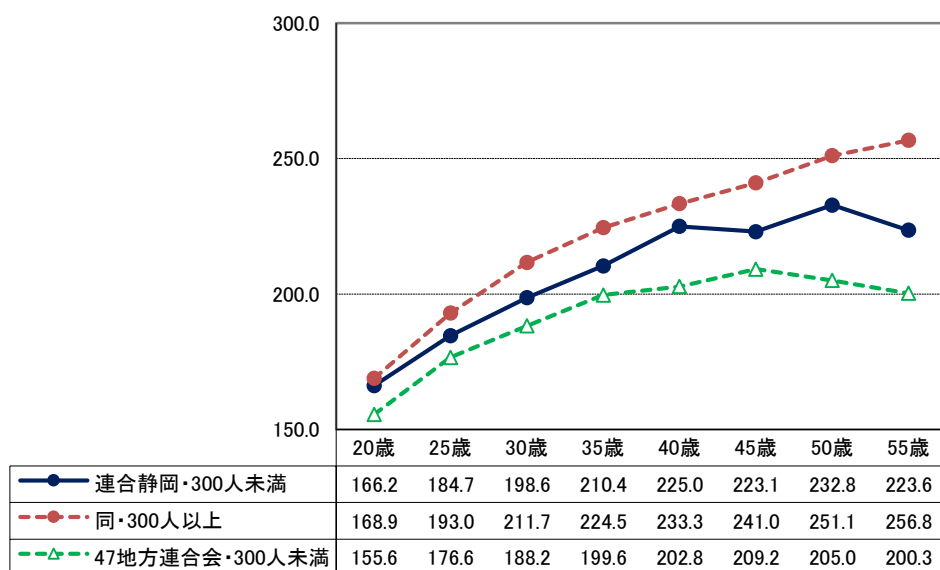
連合静岡の場合、20歳から55歳までの各年齢ポイントで47地方連合会の水準を上回っており、このうち40歳や50歳、55歳といった年齢ポイントで差が大きくなっている。また、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は5,616円で、47地方連合会（4,797円）を819円上回っている。

ちなみに、賃金カーブといった点では、年齢の高まりとともに概ね右肩上がりのカーブを描いている点は47地方連合会と概ね共通しているが、そのピークは連合静岡で50歳、47地方連合会で45歳となっている。

参考 「2020 地域ミニマム運動」・年齢ポイント別第1十分位数：全産業計（単位：千円）

	連合静岡 300人未満計		47地方連合会 300人未満計		連合静岡／ 47地方連合会
		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	166.2	100.0	155.6	100.0	106.8
25歳	184.7	111.1	176.6	113.5	104.6
30歳	198.6	119.5	188.2	121.0	105.5
35歳	210.4	126.6	199.6	128.3	105.4
40歳	225.0	135.4	202.8	130.3	111.0
45歳	223.1	134.2	209.2	134.5	106.6
50歳	232.8	140.1	205.0	131.8	113.6
55歳	223.6	134.5	200.3	128.8	111.6
傾き	5,616		4,797		

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



注1). 連合静岡・300人未満計は16,128人、平均年齢39.5歳、平均勤続年数15.0年、平均賃金額272,735円。
(47地方連合会は、同129,411人、同39.6歳、同14.2年、同261,276円)。

注2). 連合静岡・300人以上計は71,360人、平均年齢39.3歳、平均勤続年数15.6年、平均賃金額293,734円。

【賃金特性値について】

いわゆる賃金特性値とは、中位数や分位数など、賃金のデータ分布を数値で表したものである。

例えば、賃金額を低い方から順に並べた場合、低い方から 10% 目にあたる値を第 1 十分位数、25% 目にあたる値を第 1 四分位数、ちょうど真ん中（50% 目）の値を中位数、以下同様に、75% 目の値を第 3 四分位数、90% 目の値を第 9 十分位数とよんでいる。

第 1 十分位数：十等分し、低い方から最初の節の者の賃金



第 1 四分位数：四等分し、低い方から最初の節の者の賃金



中位数：二等分し、真ん中の節の者の賃金



第 3 四分位数：四等分し、高い方から最初の節の者の賃金



第 9 十分位数：十等分し、高い方から最初の節の者の賃金



参考Ⅱ 静岡県・春季賃上げ妥結状況

下記の表は、静岡県経済産業部労働雇用政策課が公表している「2019 年 春季賃上げ要求・妥結確報（最終集計）」から、加重平均の結果を抜粋して整理したものである。

参考 静岡県・2019 年春季賃上げ妥結確報（最終集計・加重平均）

	労組数	平均年齢	平均賃金	全平均との差
全平均	252	39.2	290,248	
東部	73	39.6	291,656	1,408
中部	62	38.8	278,485	▲ 11,763
西部	117	39.1	293,537	3,289
300人以上	125	39.2	293,305	3,057
299人以下	116	38.4	248,217	▲ 42,031
製造業	183	39.1	300,697	10,449
運輸業、郵便業	27	41.5	248,986	▲ 41,262
卸売業、小売業	17	38.3	255,391	▲ 34,857

注). 平均年齢は「歳」、平均賃金は「円」。

出所). 静岡県経済産業部労働政策課【公表資料用】より作成。